

## 2022年度杉木明子研究会（現代アフリカ政治・国際関係論）

### 第2次募集要項・入ゼミ課題

#### 1. 本研究会に関して

本研究会は、アフリカ諸国やアフリカ地域を取り囲む国際的な諸問題考察します。重視しているのは、第1にアフリカの現状を踏まえた上で、様々な事象を政治学、比較政治学、国際政治学の分析アプローチを用いて考察することです。第2に、民族紛争・内戦・「テロ」、難民問題、平和構築・復興支援、開発協力などの主要な問題を国レベル、地域レベル（例えば南部アフリカ、西アフリカ、サヘル地域など）、国際関係（アフリカとEU、アフリカとアメリカ、アフリカと中国）から捉えなおすことを留意しています。

アフリカやアフリカをめぐる国際関係を力から学ぶことは様々なメリットがあると思います。第1に、新たな知識や知見を取得することができます。多くの人が抱きがちなネガティブなイメージはアフリカ諸国の持つ多様な一面にすぎません。例えば、近年、スポーツ（特にサッカーや陸上）、音楽、ファッションなどの分野でアフリカ出身者の活躍がみられるようになってきました。また、紛争解決のために、伝統的な紛争解決のメカニズムを活用し、紛争当事者の和解を促し、地域の平和的な共存を図る平和構築の取り組みや、創意・工夫によって新たな難民支援プログラムを打ち出すなど、先駆的な事例もみられます。第2に、アフリカを学ぶことで、定説、通説となっている価値観や「事実」をとらえ直し、日本や世界のあり方を再検討することができるのではないかと思います。当研究会では、アフリカに関心がある方はもちろんのこと、人道援助や国際協力、民族紛争・内戦・「テロ」、紛争体験国における平和構築・移行期正義、難民・国内避難民・強制移動問題などに関心がある方も歓迎いたします。

#### 2. 募集人数：若干名

#### 3. 他学部・他学科生の受け入れ

応募を歓迎いたします。これまでに法律学科、文学部、商学部の学生が所属しています。

#### 4. 留学中または留学予定者の受け入れ

3年次秋学期以降に留学を予定している場合は特に問題ありません。現在留学中の2年生はメールでご連絡ください。留学予定の方は志望理由書にその旨を記載してください。

#### 5. ゼミの進め方（火曜日3・4限：本ゼミ、5限：サブ・ゼミ）

\*3時限：3年生のみで行います。アフリカ政治に関する基礎的文献を精読しながら、ディスカッションを行います。

\*4時限：3・4年合同で、4年生による卒論中間報告に基づき、ディスカッションを行います。ゲストスピーカーをお招きしたり、ワークショップを実施する場合があります。

\*5時限：サブ・ゼミでは春学期は3・4年合同で、アフリカ情勢に関する最新情報の分析や文献を輪読します。秋学期は3年生が中心となり、三田論（三田祭）や合同ゼミの準備を行います。

\*当ゼミは4年次に卒論を執筆することを必須としております。

\*上記以外に文献検索・データ講習、ワークショップ、他大学との合同ゼミなども行う予定です。貿易ゲームやSDGsに関するワークショップ、ジャーナリスト、JICA、NGO関係者をゲストとしてお招きしました。

\*通常のゼミとは別に他大学との合同ゼミを週末や長期休暇期間に実施する予定です。原則として全員参加が基本方針です。それに参加することを前提の上、応募してください。